

# 紀州 經濟史 文化史 研究所紀要

第 38 号

---

高野山御手印縁起と中世国家  
——紀州忽国一揆の歴史的前提——

海 津 一 朗 ( 1 )

徳川吉宗の母浄円院の家族  
——幕臣巨勢氏の始原——

藤 本 清二郎 ( 19 )

近世安楽川荘の宮座と地域社会

小 川 敦 ( 45 )

詠歌が繋ぐ地域のアイデンティティとネットワーク  
——和歌山歌学協会と『わかのうら浪』をめぐって——

松 澤 俊 二 ( 69 )

〈史料翻刻〉

紀州藩家老三浦家文書(二三)  
——江戸出府日記・御用番留帳——

上 村 雅 洋 ( 93 )

人口減少期突入前後の和歌山県の人口動態

山 神 達 也 ( 1 )

---

2017年12月

和歌山大学紀州經濟史文化史研究所

## 『紀州経済史文化史研究所紀要』投稿要領

- 1 (投稿資格) 論文・資料紹介いずれの場合でも、紀州経済史文化史研究所および『紀州経済史文化史研究所紀要』の目的に合致する研究論文である限りにおいては、所員に限らず誰でも投稿できるものとします。なお、投稿に際しては、本研究所所員の推薦状を添付することができますが、採否には影響しません。
- 2 (字数制限等) 注・図表・図版を含め、400字詰原稿用紙換算にて40枚程度を原則とします。使用言語は日本語を原則とします。上記の原則および学術論文としての常識的体裁を大きく逸脱する場合、投稿をお断りする場合があります。また、引用資料・図版等を掲載するにあたっての許諾申請等(電子公開も含む)は投稿者が各自の責任において行なって下さい。
- 3 (投稿申請) 例年7月下旬の投稿申請締切までに、投稿者の氏名・連絡先、投稿論文の題目・予定分量・400字以内の要旨を添え、郵送ないしe-mailにて投稿申請を行なって下さい(投稿者が所員ではない場合には研究略歴を添付して下さい)。申請を取り下げる場合には、速やかにご連絡下さい。なお、投稿申請締切日の詳細についてはお問い合わせ下さい。
- 4 (投稿方法) 投稿論文の正本・副本、計2部を郵送または持参して下さい。その際、論文データを記録したメディアもあわせてご提出下さい。なお、投稿論文および記録メディアは、投稿を取り下げる等、いかなる場合においてもお返しできません。
- 5 (投稿締切) 例年9月中旬の投稿締切日までに上記に定めた方法でご提出下さい。投稿締切日の詳細については投稿申請時にお知らせします。
- 6 (論文審査) 『紀要』編集委員会が指名する若干名によって投稿論文の審査を行います。採否が確定しましたら、速やかに投稿者にお知らせします。
- 7 (抜刷等) 掲載論文の抜刷を50部、および本誌5部を進呈いたします。
- 8 (電子公開) 『紀州経済史文化史研究所紀要』は電子化されウェブ上に無償で公開されます。本誌掲載の著作物の著作権は執筆者に帰属しますが、研究論文等の入稿を以て、ウェブ上における無償公開を許諾したものと見なします。
- 9 (連絡先) 論文投稿に関しての窓口は紀州経済史文化史研究所事務室とします。

### 附則

本投稿要領は平成28年6月28日より適用する。

【執筆者一覧】 ◎を付したものは投稿・査読論文である。

- ◎海 津 一 朗 和歌山大学 教育学部 教授
- ◎藤 本 清二郎 和歌山大学 名誉教授
- ◎小 川 敦 和歌山大学 教育学部 卒業生
- ◎松 澤 俊 二 桃山学院大学 社会学部 准教授
- 上 村 雅 洋 和歌山大学 名誉教授
- ◎山 神 達 也 和歌山大学 教育学部 准教授

紀州経済史文化史研究所紀要 第38号

発行日 2017年12月28日

発行所 和歌山大学地域活性化総合センター  
紀州経済史文化史研究所

和歌山市栄谷930

印刷所 中和印刷紙器株式会社

和歌山市久保丁4-53

BULLETIN  
OF  
INSTITUTE OF KISHU ECONOMIC  
AND CULTURAL HISTORY  
WAKAYAMA UNIVERSITY

---

CONTENTS

**Articles:**

KŌYASAN OTEIN-ENGI (Hidden Treasure of KŪKAI) in Medieval Japan :  
Historical Premise of Forming the Republic in Kishū (KISHŪ-SŌKOKU)  
KAIZU Ichiro ( 1 )

A Historical Study on the Family of “JOEN-IN”, the Mother of the 8th Shogun  
“TOKUGAWA YOSHIMUNE” :  
Focusing upon an Origin of “KOSE-SHI”, a Vassal of the Shogun  
FUJIMOTO Seijiro ( 19 )

Miyaza and the Local Community of Early-Modern Arakawa Manor  
OGAWA Atsushi ( 45 )

Waka Poems Sustain Regional Identity and Connect People :  
Focusing on the Wakayama-Kagaku-Kyokai and a magazine “Waka-No  
-Uranami”  
MATSUZAWA Shunji ( 69 )

**Transcription:**

Family Documents of Miura, Seneschal of the Kishu Clan (23)  
UEMURA Masahiro ( 93 )

**Articles:**

Population Change in Wakayama Prefecture around Entering into the Era of  
Population Decline  
YAMAGAMI Tatsuya ( 1 )